

ssmjp 2018.11.6

# 技術書典5 参加レポート

khirose@ささみ同人部

# 技術書典5

2018.10.8 サンシャインシティ展示ホール

※技術書典についての説明は省略

# ささみ同人部

slackの雑談から「同人誌というアウトプットをしてみよう」という有志が集まって出展することに

公式の活動ではないので「同人部」

今回の出し物  
「ささみのほん2」

実物を手にとってご覧ください  
B5版40頁500円×150部  
5人6記事＋前説・あとがき

# 「ささみのほん2」の作りかた

- 書籍執筆支援システム **ReVIEW** を使いました
- github に ReVIEW記法(markdownライク)で書いたファイルを push すると CircleCI が走って Dropbox に PDF が!!
- 出来上がった PDF を印刷所の web へアップロードするだけ。マジでそれだけ(カラー表紙は別途.psdをアップロード)
- サークルスペースへ直接納品

# 顛末(まねしちやいけません!)

- 参加申し込みが始まったころ slackで執筆者を募り、参加を決定(6/20～6/末)
- 「だいたい2週間前には入稿しなきゃね」という感覚でダラダラする
- のこり3週間で切ってちょっとアせる。この頃、執筆者5名で確定
- 印刷所の締切が「10/3 12:00」と判明。9/30 24:00を仮の締切に。部数・単価を決める
- ReVIEWが立ち上がってPDFができ始めるのが10/1の19:55から
- 校了したのは入稿当日の04:43 →無事入稿
- 当日は滞り無く、まあまあの売り上げでした

**実質3日で一冊できちゃうよ**

(注:個人の感想です)

# サークルスペース



# 当日の様子

- サークルスペース作り
  - テーブルクロス: 足元を隠せるものがよい
  - popスタンド: 折りたたみ式、使い捨て  
(ダンボールは運営が回収してくれる)
  - お釣り・お釣り入れ、売り上げを記録するメモ(ポストイット)
  - 売れ残りを持って帰る方法を考えておく
- 売上在庫管理
  - 1時間毎に現金と在庫数があるかどうかカウントする
  - 複式簿記知っていると、間違えのない方法で計数できる

# 感想・反省

- なにはともあれ、無事頒布にこぎつけた
- 目標部数(50冊)はクリア
- github + CircleCI はスムーズだった
- ReVIEW 初めてだったけどなんとかあった。便利べんり
- 表紙と裏表紙を並べていると、両方買おうとする人が多い
- 値段を気にして買わなかった人は居なかったと思う
- 立ち読み → 購入の確率は 50%くらい
- 当日頒布した60冊のうち、女性が4人も買ってくれた
- 決め台詞を目立つように上段に持ってきたのは成功だった
- 技術書典での ssmjp の知名度は低い
- 同人系の客と単に技術書を買いに来ているだけの客が半々くらい
- 勉強会(ssmjp)に来る層と、技術書典でささみのほんを買う層は違う

# カイゼン

- サークルスペース
  - 目線の流れに沿った情報の配置・見せ方を考える
  - 三脚やスタンドなどで高いところにカンバンを掲げられるとよかった
  - popには、本の内容を一言で表したコピーや ssmjp 同人部の説明を書いておく
  - 買わなかった人にもなにか渡したい(名刺・チラシ)
- 商品
  - 「1はないの?」って聞かれることが意外と多い。旧作はPDF販売がいいかも
  - **お釣りのことだけ考えるならば800円**が一番効率良い
- 売り子
  - 「手にとったけど買わなかった人」からのフィードバックが一番大事
  - 積極的に売り込んでいこう
- **この本を読んで、あなたもアウトプットしましょう!** (というアピールこそが本懐)

# 技術書典6に向けて

- 同人誌制作フローの高度化(ReVIEWを使いこなしたい)
- 頒布数を増やす(技術書典だけで損益分岐点を超える)
- 余裕を持ったスケジュールで記事の品質をよくする
- 記事の寄せ集めで終わらないように、コンセプトや目的を書き添えてわかりやすくする(なんの本なのか? という質問が多い)
- 一人でも多くの人に執筆者として参加してもらおう
- 「アウトプットしないのは知的な便秘」の体現

アウトプットしないのは  
知的な便秘 

技術書典6にも参加します! よろしくお願いたします!!